

平成30年度トトリズム推進補助金2次募集(スタートアップ型) 結果一覧

| 団体名 | 事業名 | 事業内容 |
|--|--|---|
| スタートアップ型(スタート支援) 計22件 <採択15件> | | |
| PAPA SUN'S | PAPASUN's(学校法人 東部学園 認定こども園 さくら幼稚園さくら保育園 おやじの会)設立 | 【実施日】平成30年8月～12月 【場所】鳥取市、佐治町、国府町、若桜町など 【内容】体験交流を通じて親同士のコミュニケーションをとることにより、防犯、防災につなげることのほか、幼稚園・保育園との相談の場、子育て環境改善につなげる。 |
| 弥生の風 | 弥生の風 キッズサロン | 【実施日】平成30年8月1日～平成31年3月31日(毎週土曜日) 【場所】ふれあい茶論 弥生の風 【内容】地域の子どもたちの新たな居場所として「キッズサロン」を開設する。 |
| 鳥取医療生活協同組合 | 第1回健康ウォーク 2018in「青島公園」 | 【実施日】平成30年10月8日(月) 【場所】青島公園 【内容】市民の健康増進につなげる目的で鳥取医療生協の健康づくり活動を広く一般市民に広報し、ウォーキングイベントを実施することで多世代が交流できる場づくりにつなげる。 |
| メイカーフェス境港実行委員会 | メイカーフェス境港2018 | 【実施日】平成30年9月15日～16日 【場所】鳥取県立夢みなとタワー 多目的ホール 【内容】子どもたちに「モノづくり」に対する興味や理解を深めるために、「プログラミング教室」や「ワークショップ」、「最新テクノロジー商品の展示」など体験型の取組を中心に実施する。 |
| 仁王堂星取祭実行委員会 | 2018仁王堂星取祭 | 【実施日】平成30年8月11日 【場所】仁王堂公園 【内容】・納涼茶席・星のコンサート・花火大会 |
| 倉吉商工会議所青年部 | 第10回 ちびっこフェスティバル | 【実施日】平成30年10月21日(日) 【場所】パープルタウン(倉吉市山根557-1) 【内容】「働く車」の展示・乗車体験 職業体験型ワークショップ「職フェス」(段ボールや板紙を使ったパッケージ作り等) |
| 大山お茶楽文化祭実行委員会 | 2018大山お茶楽文化祭 | 【実施日】平成30年11月3日 【内容】・合同茶席・体験茶席・不昧公200年祭記念特別展示・大山道案内 |
| ふらっとChizu | ふらっとChizu | 【実施日】平成30年8月～平成31年3月 【場所】塩屋出店など 【内容】智頭町における担い手の発掘、仕組みづくり、育成のため、参加者同士が主体的に参加、つながれるような企画やワークショップの開催など |
| 大山子ども体験道場 | 大山子ども体験道場 サバイバルオリエンテーリング | 【実施日】平成30年8月11日(土) 【場所】大山町佐摩集落 【内容】オリエンテーリングのチェックポイントで地域にまつわるクイズに答えることで、ポイントを獲得し、入手した食材で昼食を作る。その後、運営に携わった「大人」と参加した「こども」で昼食を取りながら交流を深める。 |
| 境港市・瑋春市友好25周年記念写真展実行委員会 | 境港市・瑋春市友好25周年記念写真展 | 【実施日】平成30年10月10日～29日 【場所】海とくらしの史料館 【内容】・境港市や瑋春市の写真家による写真展示(特に瑋春市のは詳細説明)・瑋春市をパネルやPR動画で紹介・「日本・中国の文化の違い、今後の日中交流のあり方」をテーマにした国際交流員による記念講演・中国伝統音楽の演奏会 |
| NPO市民文化財ネットワーク鳥取 | とっとり県民の日フォーラム「鳥取県再置の功労者”岡崎平内”と鳥取の地域づくり」 | 【実施日】平成30年9月1日 【場所】とりぎん文化会館 第二会議室 【内容】鳥取県再置について映像解説、基調講演、参加型パネルディスカッション |
| 鳥取社長とお笑いカーニバル実行委員会 | 第1回鳥取社長とお笑いカーニバル | 【実施日】平成30年9月30日(本選)、平成30年9月9日(予選) 【場所】とりぎん文化会館 【内容】小中高校生が鳥取企業や社長をお題としたコントを発表し、お笑い芸人が審査 |
| 屋住自治会 | 屋住地区を若者交流事業 | 【実施日】平成30年8月～平成31年2月 【場所】長谷川邸等 【内容】・屋住地域の農作業による農業資源の活用を考える交流 8月 ・屋住にある古民家「長谷川邸」宿泊による交流 8月 ・古民家での活動メニューを考える 8月 ・伝統文化『麒麟獅子舞』の継承を考える交流 2月 |

| | | |
|-----------|--------------------------|--|
| 郷土の歴史を知る会 | 郷土の歴史を伝えていく交流事業 | 【実施日】平成30年8月1日～平成31年3月31日 【場所】高齢者施設及び各地区公民館等 【内容】高齢者の認知症防止や地域の子どもに地域の歴史を伝える方法として、「回想法」の考え方に基づいた「紙芝居」を実施する。 |
| 街村探旧所 | 若桜鉄道沿線を中心とした小さな昭和発見・再生事業 | 全体:「詰所1号を題材に昭和時代の景観の魅力発見と再生の足掛かりとして、ワークショップを行い、「詰所1号」の応急処置を行う 【実施日】平成30年8月1日 【場所】若桜鉄道八東駅舎内 【内容】60代以上の若桜鉄道利用者に当時の「詰所1号」について語ってもらう 【実施日】平成30年8月1日以降 【場所】若桜鉄道八東川第二橋梁脇「詰所1号」 【内容】ワークショップを行い、詰所1号の役割、機能を整理し図面作成。「詰所1号」の応急処置を行う。 |

スタートアップ型(継続支援) 計7件 <採択5件>

| | | |
|-----------------------|------------------------------|--|
| 大山女性の会 | 国立公園大山の土産物開発製造販売事業 | 【実施日】平成30年8月1日～平成31年3月31日 【場所】大山町を中心とした加工施設、地元商店等 【内容】・菓子「大山古道」の安定供給支援 ・新たな土産物(せんべい「大煎」)の開発、生産安定、販路の確立等 |
| にじいろくるりん | 「ゆやの家」～子育て中の大人が元気になる！プロジェクト～ | 【実施日】平成30年8月4日 【場所】隼ラボ、野原のカフェぽすと 【内容】親子で花育ワークをし、花から命の大切さを学ぶ 【実施日】平成30年10月 【場所】旧山形小学校 【内容】親が食事について理解し、子供に噛むことの大切さを伝えるために、食べものが体と脳を育てる仕組みを学ぶ 【実施日】平成31年2月 【場所】野原のカフェぽすと 【内容】性について子供にどのようにして伝えていけばよいか学ぶ |
| とっとりの元気づくりプロジェクト西部チーム | 古民家・空き家利活用人材育成事業 | 【実施日】平成30年9月3日 【場所】旧末次太陽堂 【内容】・古民家 空き家利活用人材育成をテーマにした講演会及び事業プレゼンテーション・イベント終了後の個別フォロー |
| 鳥取商工会所青年部 | 第2回強肩王決定戦 I N TOTTORI 2018 | 【実施日】平成30年11月3日 【場所】コカ・コーラウエストスポーツパーク 球技場 【内容】地域の元気、鳥取の元気のため、当イベントを企画し、県内外から更に参加者を募集し、活気ある笑顔あふれるまちづくりを貢献する。その交流イベントとして、遠投イベントを行う。 一般の部:A球を使用して遠投競技、Jrの部:C球を使用して遠投競技。 有名YouTuberを招聘し、全国発信。 |
| NPO法人里山地域研究会 | 花桃で賑わう地域づくり事業 | 【実施日】平成30年10月1日～12月31日 【場所】三朝町井戸地区 【内容】昨年度に引き続き、今年度は花桃20本を植栽し、景観を形成する。その為に荒廃農地を重機を使って整備していく。 |
| しだれ桜の郷を育てる会 | 鳥取県中部桜マップ作成を通じての地域活性化事業 | 【内容】昨年度桜の名所調査が実施できなかった琴浦町及び打吹公園を調査し、追加MAPの発行。これをインターネット上に公開する。 |

スタートアップ型(ステップアップ支援) 計5件 <採択3件>

| | | |
|--------------|----------------------------------|---|
| 良菜会 | 良菜会元気アップ&コラボ推進事業 | 【実施日】平成30年8月～平成31年3月 【場所】野菜畑のシンデレラ、しいたけ会館、芦津集落 【内容】農産物・加工品をより多くの人に知ってもらい、特産物を開発することで地域コミュニティ強化及び会員の営農意欲の向上と生きがいつくりにつなげる。具体的には、先進地視察、良菜会の活動PR、料理提供のクオリティアップを行う。 |
| 木育サポート森のきこりん | 指導者のためのやさしい木育教室(導入編)「木育」ってなんだろう? | 【実施日】①平成30年11月25日(日)②未定 【場所】①湯梨浜町 鳥取県建築技能近代化協会②倉吉市 伯耆しあわせの郷 【内容】川上の森林環境と、川下での木材利用環境、そこから見える地球温暖化問題などの地球を取り巻く現状を座学「木のおもちゃづくり体験」「樹木観察体験」を通じ受講者により分かりやすい形で「木育」を学んでいただき、樹木と木材のすばらしさを五感で感じる。 |
| 春月会 | 生田春月をうたう ー豊かな抒情の世界へー | 【実施日】平成30年9月22日(土) 【場所】米子市淀江文化センター 【内容】生田春月の作品を「歌」と「朗読」で表現し、解説を加えることで、新たな春月像に迫る舞台にする。 |